

ふくしの木

2016.9
No. 30

《特集》社協会員会費と赤い羽根共同募金

Contents

- 01 会長あいさつ
理事・評議員改選のご報告
- 02 地域リーダー研修会
- 03 社協会員会費
- 04 赤い羽根共同募金
- 05 百寿おめでとうございます。
- 06 平成27年度事業ならびに事業活動収支決算報告
- 07 インフォメーション

ふくしの木

第三〇号 発行日/平成二十八年九月 発行/社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 〒779-1361 徳島県美馬市脇町大字脇町一三〇三番地三
電話(〇八八三)五三七四三三 FAX(〇八八三)五三一六四七五 e-mail mimashi@tokushima-shakyo.jp



INFORMATION

インフォメーション

みまっこフェスティバル開催

美馬市内の三世代の交流の場・学習の場・発見の場となることを目的とし、みまっこフェスティバルを開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしております♪

無料

日時 平成28年10月30日(日)
午前10時～午後2時
場所 うだつアリーナ

問い合わせ先 ☎53-7432(地域福祉課)

子育てサロン

0歳から就学前の子どもと、その保護者の方が自由に参加できます!

親子で気軽に参加し、自由に遊んだり、楽しくおしゃべりしたり、子育ての情報を交換したり...

子育てを楽しみながら仲間をつくり互いに支えあう活動です♪

脇町会場 毎月第4火曜日
脇町福祉センター1F 午前10時～午前11時30分

- 10月25日
- 11月22日
- 12月20日(第3火曜日)
- 1月24日
- 2月28日
- 3月28日

美馬会場 毎月第3土曜日
旧美馬第2保育所 午前9時30分～午前11時

- 10月15日
- 11月19日
- 12月17日
- 1月21日
- 2月18日
- 3月18日

《参加費》子ども1人につき
毎回100円(おやつ代・飲み物代等)



問い合わせ先
☎53-2528(美馬ファミリー・サポート・センター)

生活困窮者自立支援事業

「子ども若者支援」
講演会についてのご案内

要
申込み

日時 平成28年11月8日(火)
午後1時30分より
場所 油屋 美馬館
講師 特定非営利活動法人
NPOスチューデント・フェイス
代表理事 谷口仁史氏

問い合わせ先 ☎53-7830(暮らしサポートみま)

ふれあい福祉総合相談

(祝日、年末年始は除く)

◎総合相談(様々な悩み事に関する相談)

- ◆毎週月曜日 午後2時～午後4時
三島会館
- ◆毎週火曜日 午前9時30分～午前11時30分
美馬文化会館
- ◆毎週水曜日 午前10時～正午
木屋平総合支所
※奇数月第2水曜日はつるぎの里で行います。
- ◆毎週木曜日 午前9時30分～午前11時30分
美馬市社会福祉協議会
- ◆毎週木曜日 午後2時～午後4時
宮内交流の里

◎弁護士相談(要予約)

- ◆毎月第3水曜日 午後1時～午後4時

◎司法書士相談(要予約)

- ◆毎月第1・4水曜日 午後1時～午後4時

◎土地家屋調査士相談(要予約)

- ◆毎月第2水曜日 午後1時～午後4時

◎結婚相談(要予約)

- ◆毎月第3木曜日 午前9時30分～午前11時30分

問い合わせ先 ☎53-7830(暮らしサポートみま)

編集後記 表紙のデザインは、穴吹の風景(写真)を加工したものです。今後も、子ども達に残したい町並みをテーマに掲載していく予定です。

平成27年度 社協の事業 なごびに 事業活動収支決算報告

5月に開催されました理事会、評議会において、平成27年度社会福祉法人美馬市社会福祉協議会事業報告ならびに決算報告が承認されました。

平成27年度事業報告(要旨)

1 組織の基盤強化

- 社会福祉法人制度改正等を見すえた事業展開が必要とされるため、役職員一丸となって経営や運営に取り組みました。
- 産業医及びメンタルヘルス相談窓口や安全衛生委員会を設置し職員が健康で働きやすい職場づくりを行いました。
- 新会計基準移行に伴い研修会を重ね移行することができました。
- 広報誌づくりの研修では、職員が住民と関わり、つながりを深めていくことが重要であると研修を受けました。
- 社協会員会費の募集を行い、各種事業への助成等に活用しました。
- 善意銀行運営事業は、一般寄附や香典返し寄附金等の預託を、地域福祉活動計画等の事業に払出を行いました。

2 組織の基盤強化と地域の福祉力の向上

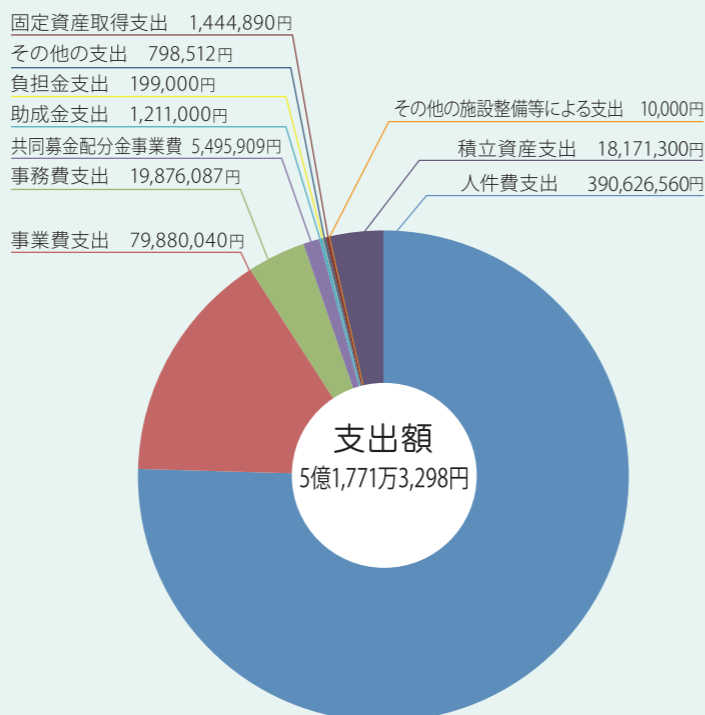
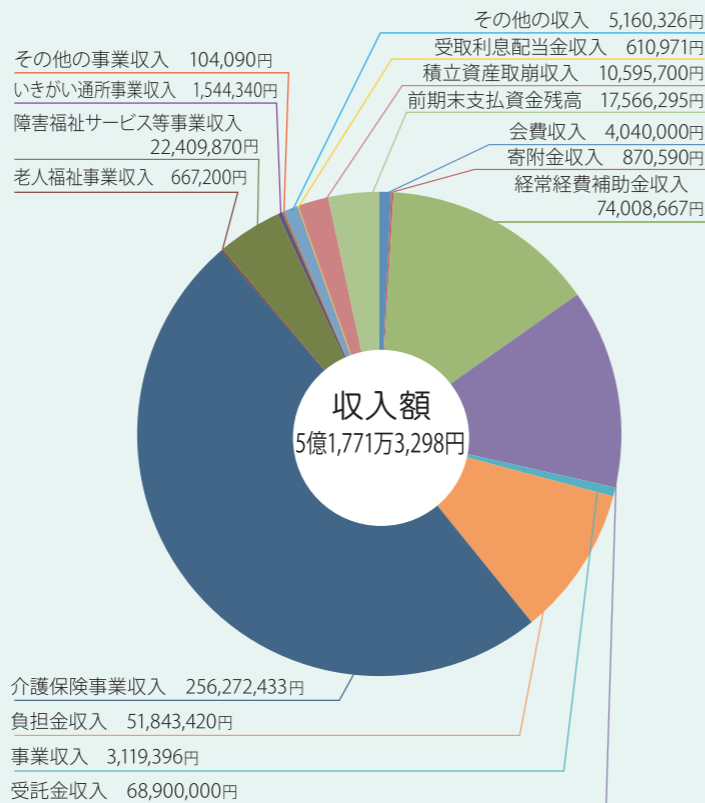
- 第2次地域福祉活動計画実行委員会において、各地区で年度計画に沿った住民の主体的な活動を展開するとともに、中間年として、全体研修会において全地区が共通意識をもった計画見直しを行うことができました。今後も各地区で地域ニーズに沿った特色のある住民活動が期待できます。
- いきいきサロン等住民の「集いの場」を利用し、介護予防や認知症啓発、小地域活動の必要性等、多くの皆さんに理解と協力を求めることができました。
- 各自治会において、住民相互による日頃の支え合い活動の見える化から、災害発生時にも活用できる「支え合いマップづくり」に向けてスタートを切ることができました。

3 生活課題を抱える方等への個別支援と自助力向上のための支援

- 権利擁護の確立を目指し、日常生活自立支援事業、法人後見センター事業の推進により、利用者の尊厳の保持に努めることができました。
- 個別の生活課題解決のため、関係機関との連携を図り、地域福祉、在宅福祉サービスとの重層的な社協内組織の連携強化により相談支援体制の構築を図ることができました。
- 柔軟性のある個別支援に取り組むことにより社協の役割を果たすことができました。

4 地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

- 介護サービスレベル向上及び収支改善のため、厚生労働省の定める認知症介護実践研修を修了するとともに定期的な内部研修会を実施しました。
- 地域に密着した開かれた施設づくりを展開していくために、デイサービスセンター施設運営委員会を立ち上げ、地域住民の方々と共に施設の在り方について検討しました。
- 働きやすい職場づくりについては、介護職員の腰痛予防について取り組みました。



会長あいさつ



会長 梶浦 豊子

この度、役員の任期満了に伴う改選により、会長に再任いただきました梶浦豊子でございます。会長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。任期中間中、誠に微力ではございますが、気持ち新たに身を引き締め、新体制のもと、全力で事業運営に取り組み参りたく存じますので、よろしくご支援ご協力のほどお願いいたします。

さて、今日の社会福祉協議会を取り巻く状況は、平成12年の社会福祉基礎構造改革以降、10年以上が経過し、措置制度から契約制度への転換、福祉サービスにおける民間企業の参入、高齢者単身世帯の増加等による福祉とニーズの多様化、複雑化が生じていることから、国は社会福祉法人制度改革の実施に向け、様々な検討を行い、この結果をふまえ、制度改正が進められています。

すでに、社会福祉法人制度の改正により、社会福祉法の一部を改正する法律が成立・公布され、地域における公益的な取り組みを実施する責務と事業運営の透明性の向上等が4月1日より施行されています。

地域福祉を推進する中核的な団体として、広範多岐にわたる事業を市民目線で効率よく推進し、多様なニーズに即した先駆的な事業を住民の方々や関係機関と連携協働し、包括的な支援ができる社会福祉の実現に向けて、組織の機能強化を進め、役員員共ども取り組んで参ります。今後とも、なお一層の御理解とご協力をお願いいたします。

新評議員 31名	
【任 期】 平成28年7月1日から平成30年6月30日 (敬称略)	
氏 名	選 出 区 分
平井 佳史	行政機関
林 茂	議会代表
佐藤 益正	教育関係団体
真鍋 昇司	教育関係団体
宮本 守	民生委員児童委員関係
武田 春夫	民生委員児童委員関係
水野 浩吉	民生委員児童委員関係
地造 津根子	民生委員児童委員関係
津川 定	住民組織代表
池本 茂続	住民組織代表
園原 義正	住民組織代表
長田 竹子	住民組織代表
谷 明美	住民組織代表
黒岩 和宏	住民組織代表
丸石 勇	福祉関係団体
大西 正之	福祉関係団体
伊内 公一	福祉施設役職員
澤田 武司	福祉施設役職員
大久保 孝雄	ボランティア関係
内田 和子	ボランティア関係
河野 正八	ボランティア関係
藤本 善子	ボランティア関係
中島 みどり	ボランティア関係
森中 順子	ボランティア関係
青木 勝彦	学識経験者
千葉 正樹	学識経験者
松家 安信	学識経験者
南 邦明	学識経験者
藤本 真喜子	学識経験者
蔭山 泰章	学識経験者
郷 司千亜紀	学識経験者



美馬市社会福祉協議会 理事評議員改選のご報告

任期満了に伴う改選により、理事会・評議員会で選任されました。平成28年8月1日に開催された理事会において会長に梶浦豊子理事が選任されました。

新理事 15名	
【任 期】 平成28年8月1日から平成30年7月31日 (敬称略)	
氏 名	選 出 区 分
栗 栖 昭雄	行政機関
久保田 哲生	議会代表
光山 利幸	教育関係団体
黒岩 誠治	民生委員児童委員関係
渡邊 和敏	住民組織代表
黒川 邦晴	住民組織代表
佐藤 賛治	住民組織代表
阿部 義則	住民組織代表
三宅 武夫	福祉関係団体
上田 薫	福祉施設役職員
川端 鴻志	ボランティア関係
梶浦 豊子	学識経験者
田邊 正枝	学識経験者
三宅 正明	学識経験者
森 廣一	学識経験者

新監事 2名	
【任 期】 平成28年8月1日から平成30年7月31日 (敬称略)	
氏 名	選 出 区 分
佐藤 全利	学識経験者
澤田 篤也	学識経験者

地域リーダー研修会

—7月3日(日)・4日(月)—
「10年先を見すえた美馬市の地域(まち)づくり」
社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 (滋賀県) 井岡 仁志氏



4会場で参加者は331名

講演では、美馬市誕生から10年間の人口変化と将来展望に向けての課題や、自分の生活する地域課題の現状を改めて認識することから始まりました。

～切実な課題～

- ・地域活動を支える人の減少や高齢化⇒集落の維持が困難になる
- ・労働人口の減少により地域経済規模が縮小
⇒生活サービスが低下し、生活が不便になる

ガ～ン! みんなの願いは・・・

誰もが安心していきいきと暮らせる地域に住みたい。

何かせなあかんの?

どうしたらいいん?



美馬地区



脇町地区

講師からのヒント↓

- 私たちの地域は、私たちみんなの力で、少しずつでも継続できることを考えて活動する
- 小学校跡地等を活用した「小さな拠点」づくりが必要!!

参加者の声↓

- 地域の中のことは地域の人がせなあかんなあ～
- 見守り活動を続けていこう!!
- いきいきサロンも続けていかなあかんなあ～
- いきいきサロンが無いところも作っていこうだ。
- 自治会の行事にも積極的に参加することが大事じゃなあ～
- 明日から、あいさつ・声掛けしていくわ
- わしらが頑張らなあかんなあ～

それぞれの地域での福祉活動のヒントとなる有意義な研修となりました。



木屋平地区



穴吹地区

百寿 おめでとうございます。

デイサービスセンター「池月苑」をご利用いただいている佐藤ハルコさんと南タミコさん、デイサービスセンター「ライフケアたがた」をご利用いただいている住友昇さんの百寿のお祝いを、各デイサービスセンターで行ないました。梶浦会長からの祝い状や記念品贈呈の後、家族の方やデイサービス利用者様とともに和やかな時間を過ごされました。いつまでもお元気でください。百寿おめでとうございます。



佐藤 ハルコさん

生年月日 大正5年4月20日

自治会 鍵掛(美馬町)

ちょっと一言

元気の秘訣は特になく、普通が一番です。



南 タミコさん

生年月日 大正5年8月25日

自治会 東宗重(美馬町)

ちょっと一言

テレビで大相撲やプロ野球を見るのが楽しみです。



住友 昇さん

生年月日 大正5年8月20日

自治会 庄舞(穴吹町)

ちょっと一言

今でも、毎日日本酒を1合飲むのが楽しみです。



デイサービスセンターに来て 肩をほぐしませんか! ～ライフケアたがた、つるぎの里に新しい電位治療器が入りました～

デイサービスセンター「ライフケアたがた」「つるぎの里」は、今年の夏、スカイウェル(電位治療器・施設用ヘルストロン)を導入しました。

スカイウェルとは、人の健康に深く関与している「自然電界」の働きに着目し、機器本体に内蔵された電極の間に電圧をかけて人工的に発生させた「高圧電界」で全身をすっぽり包み込むことにより、健康を維持する事を目的とした厚生労働省の認可を受けた医療機器です。

この電位治療器は、「肩こり」「頭痛」「慢性便秘」「不眠症」の緩解に役立っており、とても人気の高い機器になっています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(メーカーパンフレットより一部抜粋)



毎日使うとより効果的です。

体がポカポカして気持ちいいわ(^_^)

共同募金の
使い
みち

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金運動は2016年、70回目の運動を迎えます。
美馬市では毎年、共同募金の配分金を財源に、様々な活動ができています。

たとえば、こんな“ええこと”に使われよんでよ～。

共同募金とは？

共同募金は、事前に使い道や目標額を定められて行われる計画募金です。そのため、寄付者の方々に「募金の目安」をお示しすることがありますが、決して強要するものではありませんので、趣旨をご理解いただき応分のご協力をお願いします。

災害ボランティアセンター整備事業

災害時に社協が担う「災害ボランティアセンター」をスムーズに立ち上げるために、必要な資機材を計画的に整備しております。



資機材の購入(簡易デジタル無線機購入)



子育て支援事業



みまっこフェスティバル

子育て真っ最中の保護者の方や子どもたちが気軽に楽しむでもらえるイベントを開催。子育て相談などのコーナーも用意し、子育て支援も行っています。

ふれあいいきいきサロン事業



いきいきサロンレクリエーション

地域の皆さんが気軽に集える居場所である「いきいきサロン活動」の運営支援を行っています。

地域福祉推進公募配分金事業

地域で福祉活動を行う団体が、より活動が行えるよう助成配分を行っています。助成を受けた団体の皆さんは、共同募金運動の推進役も担っていただいています。今年度は7団体の活動に助成させていただきました。



デリバリーサンタクロース MIMA



美馬市更生保護女性会穴吹支部

そのほか、社会福祉大会の開催や広報誌発行等にも使われています。

皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の配分金により地域福祉活動が支えられています。今年度も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「社協会員の募集」と「会費」のご協力のお願い

社協会員会費は地域福祉推進の基盤となります。

美馬市社会福祉協議会の運営は、市民の皆さまからの社協会員会費をはじめ、美馬市や県社協からの補助金や委託金、寄附金等でまかなわれております。

社協会員会費は、“住民主体”の地域福祉活動の実施のため、住民の皆様を対象とした会員制度をとっています。今後、さらに充実した事業をすすめていくためにも、皆様からの会費が社協の貴重な財源として大きな役割を果たします。住民参加による地域福祉推進のため、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の区分 普通会員(会費一口 500円)
特別会員(会費一口1,000円)

全世帯の皆様には普通会員として加入をお願いしています。その中で、特に社協の福祉事業推進に、ご賛同ご協力いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。

普通会費、特別会費は自治会長さんを通じてお願いしています。社協の活動は皆さまの会費によってささえられています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



社協会員会費Q&A

Q1. 社協会員会費の依頼書になぜ、個人の名前が事前には入っていないの？強制なの？共同募金には記載されていないけど。

A1. 社協会員会費の依頼書は、その時その時、するかしないか自由である募金とは違って、趣旨を理解し、過去に会員となっておられる方に一年分の会費を納めていただくように依頼書に事前に氏名を記載しています。

Q2. 会費は何に使っているの？

A1. 皆様から寄せられた会費は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる、福祉のまちづくりの財源として大切に活用させていただいています。会費の使い道は、理事会・評議員会で審議され、決定されます。詳しくは、『社協会員会費のお願い』裏面に掲載させていただいております。

地域福祉活動計画実行委員会



【脇町地区】生活習慣病予防教室



【木屋平地区】特産品を使用したスイーツ作りに向けてのゆずの収穫



福祉教育 高齢者疑似体験学習



【穴吹地区】サロン活動活性化のための交流会



【美馬地区】子どもも集えるサロンワンコインカフェ